

# 第 42期決算公告

令和8年6月9日

東京都港区東新橋一丁目5番2号  
株式会社 JTBガイアレック  
代表取締役兼社長執行役員 小林美江子

## 貸借対照表

令和8年3月31日現在

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
資 産 の 部		負 債 の 部	
流動資産	5,432,312	流動負債	3,999,646
現金及び預金	2,897	営業未払金	2,714,153
営業未収金	410,607	未払金	124,955
棚卸資産	10,074	未払費用	87,458
営業前払金	1,018,568	未払法人税等	142,130
前払金	342	未払消費税等	4,555
前払費用	7,991	営業前受金	923,828
未収収益	31,010	預り金	2,566
短期貸付金	3,932,542	固定負債	92,807
一年内回収予定差入保証金	18,279	預り保証金	10,000
固定資産	547,172	退職給付引当金	78,177
有形固定資産	32,457	役員退職慰労引当金	4,630
建物附属設備	475		
器具備品	31,981	負 債 合 計	4,092,454
無形固定資産	9,588	純 資 産 の 部	
ソフトウェア	9,087	株主資本	1,887,031
電話加入権	501	資本金	100,000
投資その他の資産	505,126	資本剰余金	228,740
長期貸付金	400,317	資本準備金	103,740
差入保証金	24,606	その他資本剰余金	125,000
長期前払費用	409	利益剰余金	1,558,290
繰延税金資産	79,582	利益準備金	25,000
長期債権	12,880	その他利益剰余金	1,533,290
その他	211	別途積立金	452,000
貸倒引当金	△ 12,880	繰越利益剰余金	1,081,290
		(うち当期純利益)	(471,515)
		純 資 産 合 計	1,887,031
資 産 合 計	5,979,485	負 債 ・ 純 資 産 合 計	5,979,485

# 個 別 注 記 表

## 【重要な会計方針に係る事項に関する注記】

### 1. 資産の評価基準及び評価方法

#### (1) 有価証券の評価基準及び評価方法

その他有価証券

市場価格のない株式等 移動平均法による原価法を適用しております。

#### (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法

先入先出法による原価法（貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切下げの方法により算定）を適用しております。

### 2. 固定資産の減価償却の方法

#### (1) 有形固定資産・・・・・・・・定率法を適用しております。

ただし 2016 年 4 月 1 日以降に取得した建物附属設備及び構築物は、定額法を適用しております。

#### (2) 無形固定資産・・・・・・・・定額法を適用しております。

なお、ソフトウェアについては、社内における見込利用可能期間（5 年）に基づく定額法を適用しております。

### 3. 引当金の計上基準

(1) 貸倒引当金・・・・・・・・売上債権、貸付金等の債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を勘案し、回収不能見込額を計上しております。

(2) 退職給付引当金・・・・・・・・従業員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務（自己都合退職金要支給額）を計上しております。

(3) 役員退職慰労引当金・・・・・・・・役員退職慰労金の支出に備えるため、内規に基づく期末要支給額を計上しております。

### 4. 重要な収益及び費用の計上基準

「収益認識に関する会計基準」（企業会計基準第 29 号 2020 年 3 月 31 日）等を適用しており、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識しております。

募集型・受注型企画旅行等の旅行事業については、旅行期間内で旅程管理という履行義務が充足されると判断していることから、旅行代金を対価として、旅行期間にわたり収益を認識しております。

5. その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

グループ通算制度・・・・・・・・グループ通算制度を適用しております。